



Press Information

VPR15-074

2015年9月14日(月)

フォルクスワーゲン グループ ジャパン 株式会社

## **フォルクスワーゲン 世界ラリー選手権(WRC)で 3年連続のワールドチャンピオンを確定**

第10戦「ラリー・オーストラリア」でオジェ選手が今季7勝目



フォルクスワーゲンは、ラリー競技の最高峰「FIA 世界ラリー選手権(通称:WRC)」の2015年シーズン第10戦「ラリー・オーストラリア」に市販車をベースとした3台の「ポロ R WRC」で参戦し、フランス人のセバスチャン オジェ選手が今季7度目となる優勝を果たしました。この結果、フォルクスワーゲン・モータースポーツは3年連続でWRC マニュファクチャラーズチャンピオンを確定し、名実ともにWRCのトップを走り続けています。また、オジェ選手も3年連続となるドライバーズチャンピオン、同じくジュリアン イングラシア選手も3年連続コ・ドライバーズチャンピオンを決めました。

2015年9月10日(木)～9月13日(日)にかけて開催された「ラリー・オーストラリア」は、オーストラリア東海岸に位置するコフスハーバーを拠点に開催されるグラベル(未舗装路)ラリーです。競技区間(スペシャルステージ、通称:SS)はバラエティ豊かなグラベルステージ。高速ステージとテクニカルなステージの両面を合わせもち、全17SS、311.36km、総走行距離1023.70kmで行われました

競技初日となる11日(金)と、翌12日(土)は、選手権ランキングの順で出走するため、フォルクスワーゲンチームの3人は路面に浮いた砂利の掃除役を余儀なくされます。初日を終えた段階でヤリマティ ラトバラ選手が総合首位、3番手にオジェ選手、4番手にアンドレアス ミケルセン選手という順位に。2日目にオジェ選手は一気に総合首位に浮上し、王座を射程に捉えました。

最終日の13日(日)に残されたSSは5箇所。砂利掻き役から解放されたオジェ選手は快走を披露し、ボーナスポイントのつく「パワーステージ」でもトップタイムでまとめて今季7勝目を獲得しました。これでオジェ選手は自身のWRC通算勝利数を31に伸ばしました。ラトバラ選手は2位、ミケルセン選手はタイムコントロールでペナルティを科され、4位でラリーを終えました。

フォルクスワーゲン・モータースポーツは、これまで36戦に出場し31度の勝利を獲得しています。「ポロ R WRC」の勝率は実に86%という、過去類を見ないほどの数値に達しており、マシンとドライバーのレベルの高さを示しています。次戦はオジェ選手の母国イベントとなる第11戦「ツール・ド・コルス」です。地中海に浮かぶコルスカ島を舞台に繰り広げられる伝統のターマック(舗装路)ラリーは、10月1日(木)～4日(日)にかけて開催されます。「ポロ R WRC」の活躍にご期待下さい。

■フォルクスワーゲン モータースポーツ ディレクター: ヨースト カピート

「これほど早い段階で世界チャンピオンを確定でき、まるで夢のように思っています。ドライバー、コ・ドライバー、そして彼らを支えるチームの全員が素晴らしい仕事をしたことを誇りに思います」

■カー#1: セバスチャン オジェ(フランス) 最終結果:総合 1 位

「再び世界チャンピオンになることができ、素晴らしい気持ちです。今回は僅差の戦いでしたが、勝って王座を決めることができました。マニファクチャラーズタイトルも獲得でき、最高の結果です」

■カー#2: ヤリ-マティ ラトバラ(フィンランド) 最終結果:総合 2 位

「フォルクスワーゲンにとって最高の一日になりました。ラリー最終日も全力を尽くしましたが、一歩およばず残念です。3 度目のチャンピオンとなったオジェ選手のことを心から祝福します」

■カー#9: アンドレアス ミケルセン(ノルウェー) 最終結果:総合 4 位

「自分のパフォーマンスには心から満足していますし、いいラリーだったと思いますが、ペナルティが残念です。タイトル争いで 3 位は守れましたし、残るフランス、スペイン、GB を楽しみにしています」

■ FIA 世界ラリー選手権 第 10 戦ラリー・オーストラリア 最終結果

1.	セバスチャン オジェ/ジュリアン イングラシア(フォルクスワーゲン)	2 時間 59 分 16 秒 4
2.	ヤリ-マティ ラトバラ/ミーカ アンティラ(フォルクスワーゲン)	+12 秒 3
3.	クリス ミーク/ポール ネーグル(シトロエン)	+32 秒 6
4.	アンドレアス ミケルセン/オーラ フローネ(フォルクスワーゲン)	+38 秒 5

■ FIA 世界ラリー選手権 マニファクチャラーズ選手権ランキング(第 10 戦終了時点)

1.	フォルクスワーゲン・モータースポーツ	343
2.	ヒundai・モータースポーツ	177
3.	シトロエン・トタル・アブダビ・ワールドラリーチーム	164
4.	M スポーツ	148
5.	フォルクスワーゲン・モータースポーツ II	76
6.	ヒundai・モータースポーツ N	49
7.	ジポカー・チェコ・ナショナルチーム	43
8.	FWRT	9

■ FIA 世界ラリー選手権 ドライバーズ選手権ランキング(第 10 戦終了時点)

1.	セバスチャン オジェ(フォルクスワーゲン)	235
2.	ヤリ-マティ ラトバラ(フォルクスワーゲン)	134
3.	アンドレアス ミケルセン(フォルクスワーゲン)	111
4.	マッズ オストベルグ(シトロエン)	90
5.	ティエリー ヌービル(ヒundai)	86
6.	クリス ミーク(シトロエン)	71